

西要寺だより

第103号 令和3年10月1日

●今年の報恩講法要について

毎年10月に報恩講法要をお勤めしておりますが、今年におきまして、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言が9月末まで延長されました。10月に感染状況が改善されるか不透明であったため、9月中旬に総代さんと話し合った結果、今年の報恩講法要は11月に延長することになりました。



《 昨年の報恩講法要のお荘厳 (おかざり) 》

11月になりますと、ワクチン接種をお済みの門徒さんが増えていくだろう、ということも延長の理由として考えました。報恩講法要を11月に延長しても、感染対策は行っていきます。報恩講法要の案内状は、10月の中旬頃から順次、配らせていただきます。引き続き、ご理解ご協力のほど、宜しくお願いいたします。

先月にもお話しましたが、法要の時のお供養をしていただく方は西要寺までお申し出ください。近年にお身内の方を亡くされた場合、その方を偲んでお供養されることをお勧めします。詳細については、西要寺まで問い合わせ下さい。

●10月は定例法座をお勤めします

11月22日23日は報恩講法要ということですが、10月22日のお勤めはあるのか、ということをおられることでしょうか。10月22日は定例法座をお勤めします。要するに、緊急事態宣言の期間内であったので中止にした9月22日の定例法座を10月22日にスライド、10月の報恩講法要は11月にスライド、ということです。10月22日にもお参りください。午後2時からです。

●西要寺掲示板の法語

西要寺の南と北にある掲示板に法語を貼っています(9月30日現在)。

「怒らないことによって 怒りに打ち勝て」

仏教の開祖お釈迦さま(釈尊)のお言葉で、『ダンマパダ』に出ています。『ダンマパダ』とは『スッタニパータ』とならび現存経典のうち最古の経典といわれています。『ダンマパダ』は『法句経(ほっくきょう)』とも言い、仏教の教えを短い詩節の形(韻文 いんぶん)で伝えた経典です。上記のことばに解説は要らないほど、わかりやすいですね。ある門徒宅で、ご主人は全く怒らない方がおられます。確かにいつも穏やかです。奥さんが怒ってもご主人は決して怒らない、逆に「そういうことで奥さんが怒っているんだ」と思われるようです。普通はそのような思いをする前に怒ってしまいます。怒りを100%コントロールすることは難しいです。けれども、相手が怒ったなら自分が冷静になることなく、その前に怒ってしまうという、コントロールできない怒りという感情が起きる心が私にはあるということに気づくことが大事なのでしょう。

「自分を大切に思えるから 周りの人を大切にできる」

これもお釈迦さま(釈尊)のお言葉で、『サンユッタニカーヤ』という経典に入っています。え、仏教の経典の名前なのにカタカナ?と思われることでしょう。

仏教は大乗仏教と小乗仏教(または上座部仏教 じょうざぶぶつきょう)があることをご存じですか? 大乗仏教は北伝仏教とも言い、インドから北の方へ、つまり中国・朝鮮半島・日本へ伝わっていった仏教です。一方、上座部仏教は南伝仏教とも言い、インドからスリランカや東南アジア(タイ・ミャンマー・ラオス・カンボジアなど)に伝わっていきます。大乗仏教の方は、中国に渡ったときに漢字に翻訳されていきます。漢訳された経典は日本に伝わっていきます。一方、上座部仏教の方は、漢字に訳されることはありませんので、漢字表記の経典名にはならないのです。ただ、『ダンマパダ』と『法句経』のように、『ダンマパダ』には北伝(大乗)経典『法句経』に相当するというので、『ダンマパダ』を『法句経』と呼んだりするのです。漢訳経典と南伝仏教の経典はいずれも同じお釈迦さまの教えなので重複する部分もあるということです。

さて、先ほどの言葉についてですが、自分自身を大切に思えるから、

周りの人も大切にできるということです。今よりももう少しだけ自分のことを大切に思ってみましょう。そうすることによって、周りの人のことも見えてきます。周りの人のことも大切なのだな、もっと大切にしないとな、と思えるようになるでしょう。

●【要注意】浄土真宗の新興宗教《親鸞会》のものです

右のチラシは新聞の折り込みに入っていました。映画を見た人は、親鸞聖人のことを勉強してきました、と思うかもしれませんが、実は浄土真宗の新興宗教《親鸞会》（本部：富山）が作成した映画なのです。この映画を見られた方は別に違和感がなかったかもしれませんが、くれぐれも注意してください。昔はDVDの訪問販売もしていましたね。今は知りませんが・・・。



●浄土真宗本願寺派（西本願寺）公式Instagramより

「仏教に出遇えば背負う力が強くなる」

仏教は、魔法やおまじないではありませんから、背負っている荷物が急に軽くなるわけではありません。しかし、何も変わらないのでもありません。背負う力が強くなるのです。背負う力が強くなれば、それだけ生き方に余裕が生まれます。外出自粛や飲食の規制など、とかく窮屈な世の中ですが、心に余裕を持ちたいものですね。

●まもなくYouTube（ユーチューブ）の第3弾を出します

7月から始めたYouTube（ユーチューブ）の第2弾（新緑編）を8月に出しました。近々、第3弾も出す予定です。今後も定期的にあげていく予定ですので、宜しくお願いいたします。



西要寺YouTube ⇒



●西要寺納骨堂について（再掲）

今秋（10月半ば頃）に完成する予定です。山門の西側（会館側）の部屋を利用します。そこは縦長の部屋なので、納骨堂とすることにしました。利用期間は10年間とし、もちろん延長することもできますが、10年経つと門徒さんのご家庭の状況の変わる可能性があります。したがって、納骨堂の使用を継続するか、それとも合同墓に遷（うつ）すかの選択が出来るようにしました。その10年の間に使用者の方が亡くなった場合も同様で、使用者変更で引き続き納骨堂を使用するか、合同墓に遷（うつ）すか決めていただくことが出来ます。詳細は西要寺まで。

◎今後の西要寺行事予定◎

【定例法座】10月22日（金）午後2時より

講師：未 定

場所：西要寺本堂

【報恩講法要】

11月22日（月）23日（火）両日とも午後2時より

講師：佐々木 義英師

場所：西要寺本堂

※いずれも法要の時間は短縮させていただきます。なお、緊急事態宣言が発令された場合、定例法座は中止、法要は延期させていただきます。

なお、開催の有無等の詳しいことについては、西要寺ホームページ、西要寺の南と北にある掲示板などでお知らせします。なお、直接、西要寺まで問い合わせしていただいても構いません。宜しく願いいたします。

ホームページ
saiyouji.com



Instagram
saiyouji.a



YouTube ⇒



浄土真宗本願寺派 西要寺

〒661-0024 尼崎市三反田町1丁目7-27

電話 06-6429-8241 FAX 06-6429-8239